

蘇南中だより



自己を生かす生徒
助け合い励まし合う
知恵を働かす
たくましくやりぬく
令和5年5月1日発行

個性を磨く～仲間と共に支え合う～

校長 今井 竜生

昨年度の終わりに、生徒会執行部が中心となって令和5年度の生徒会スローガンを「個性を磨く」と決めました。それぞれのよいところを大切にひとりひとりが輝く存在になることをめざしています。それに加えて、新しく蘇南中に来た1年生の意見を集約したサブタイトルが決定「仲間と共に支え合う」となりました。1年生の意見には「協力」「助け合い」「仲間」「思いやり」など、仲間との関わりを大事にしたいという願いがたくさんあったからということでした。

この流れを見ていて、神社や寺などの建築、修繕を手がける宮大工の棟梁だった西岡常一さんの本を思い出しました。

「堂塔の木組は寸法で組まずに、木の癖を組め」（宮大工さんに伝わる口伝）

1300年前から残っている法隆寺や薬師寺の塔は、不揃いな材木で建てられている。なぜか？高さのある大きな建物はその場所によってかかる力が違う。それぞれの木材の強度にあわせて、木の癖・個性を見て組み合わせることでお互いに支え合い、揺れやゆがみにも対応できる。1本1本の木のよさを活かしながら利用する技術が法隆寺などの建物に使われているのだ。

～ この技術は、学校や社会で人が育つ環境にも同じように考えられると思います。～

ひとりひとりのよさ、個性を大切にしつつ、仲間と共に支え合って歩んでいこうという生徒会の願いが叶う令和5年度にしていこうと思います。



個性を磨く姿



仲間と共に

昨年度、2年生の国語の時間に気持ちのこもった音読をしている姿です
⇒ 3年生になった今、より磨きがかかり放送文化委員長として楽しくて聴きやすい素敵なお屋の放送をしてくれています。

みんなの手形を学級目標に。
みんなの手と手を合わせて一緒に掲示物をつくっている様子です。
⇒ 11E組の学級活動の様子